

はむら市議会だより

No. 95

(通巻No.204)

平成24年11月15日発行
 羽村市議会
 〒205-8601
 東京都羽村市
 緑ヶ丘5丁目2番地1
 ☎042(555)1111
 ホームページアドレス
<http://www.city.hamura.tokyo.jp/>

羽村市議会 検索



まだまだ食べられそうにないなあ (10月20日に行われた脱穀で・根がらみ前水田)

あなたも議会を 傍聴してみませんか？

次回の定例会は12月です。

請願・陳情の提出は、11月21日までをお願いします。

インターネット録画中継も行っています

12月定例会の予定

- 12月4日(火) 本会議(初日)
- 12月5日(水) 本会議
- 12月6日(木) 本会議
- 12月7日(金) 本会議
- 12月12日(水) 常任委員会(予定)
- 12月13日(木) 常任委員会(予定)
- 12月20日(木) 本会議(最終日)

※予定は変更になる場合があります。詳しくは、市ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。

第3回(9月)定例会

一般質問 市政を問う(15人の議員が一般質問)	2ページ
審議した主な議案と議決結果	13ページ
採択された意見書	15ページ
平成23年度決算を認定	16ページ
議会の主な活動	22ページ

編集後記

今回の定例議会から、インターネット録画中継が始まりました。開かれた議会として一歩前進です。平成18年の第2次議会改革検討委員会の中間報告としてまとめられてから実現まで6年かかっています。

多くの自治体はすでに始めている中で、少し遅いスタートとなりました。これは、費用や効率性を考慮し、議会独自に行うのではなく、テレビはむらのインターネット配信計画に併せて実現していこうとの財政的配慮を働かせたためです。

現在も議会改革の流れは止まることなく進めております。さらに市民の皆さまにとつて身近な議会となるよう、今後とも努力してまいります。

(石居記)

【編集委員】
 石居 尚郎 富松 崇
 富永 訓正 鈴木 拓也
 大塚 あかね 山崎 陽一
 濱中 俊男



▲羽村市の生産緑地指定を受けていることを示す看板

質問 現在の進ちよく率はどのくらいか。

市長 市全体の26%である。

質問 地籍調査により増減した土地は固定資産税等に即、反映されるのか

市長 登記所から登記簿の修正通知を受けた場合、固定資産評価基準に基づき、課税台帳等の修正作業が終了した翌年度から課税に反映することとなる。

質問 今後の見通しと計画はどうか。

市長 東日本大震災の影響による地殻変動で公共基準点が動いたことにより、地籍調査は現在中断している。このため、公共基準点等の検証作業を

し、この終了予定の平成25年度から双葉町地区の調査を再開していく予定である。

羽村の緑を守り育てていくために

質問 過去5年間の生産緑地の買い取り要請件数と、その面積、金額は。

市長 買い取り要請は25件、そのうち実際の買い取りは1件、羽中四丁目の水田で732㎡、5千272万2千720円である。

質問 特別緑地保全地区制度を羽村市に適用できないか。

市長 根がらみ前水田などが対象として考えられるが、所有者の意向や土地利用の経過を踏まえると制度導入や地区指定は慎重に検討する必要がある。

質問 緑地の減少を防ぎ、緑を創出し自然環境を維持していくための方策は。

市長 羽村市は各地区の特性を生かし、自然環境に配慮した緑の保全に取り組んできた。今後は自然の資源を核とし、自然豊かな羽村市の特性を将来に継承するまちづくりに努めていく。※特別緑地保全地区制度：優れた景観や文化財と一体的な緑地の保全など、特殊な事情のある地域を建築制限などで規制し、環境の保全を図るもので、都市における自然環境の保全制度の一つ。

市政を問う

はしもと ひろたか
橋本 弘山 議員
(新公会市民クラブ)



◇地籍調査事業について
◇羽村の緑を守り育てていくために

地籍調査事業について

質問 地籍調査の目的は。

市長 国土調査法に基づき、公図一筆ごとの土地の所有者、地番、地目、境界および地積に関する調査と測量を行い、その結果を地図、簿冊に記載し、地籍の明確化を図ることを目的としている。

平成24年第3回羽村市議会(定例会)を、9月6日から9月28日までの23日間の会期で開催しました。開会初日には、市長から、市政についての所信表明がありました。9月6日、7日、10日には、15人の議員が一般質問を行い、市長の考えを問いました。※質問・答弁は、内容を要約して掲載しています。

議員名	頁	議員名	頁
橋本 弘山	2	富松 崇	8
富永 訓正	2	船木 良教	8
中嶋 勝	4	鈴木 拓也	9
小宮 國暉	4	馳平 耕三	10
石居 尚郎	5	門間 淑子	10
濱中 俊男	6	山崎 陽一	11
大塚あかね	6	水野 義裕	12
西川美佐保	7		

とみなが のりまさ
富永 訓正 議員
(公明党)



◇公共公益施設の維持保全計画について
◇はむら夏まつりについて

公共公益施設の維持保全計画について (市議会公明党が独自に行った防災・減災の観点での総点検から)

質問 公共建築物の状態、問題箇所を

どう把握、認識しているか。

市長 安全点検を通じて評価、把握し、弾力的に対応している。

質問 緊急点検、補修・改修が必要と

思われる建築物が見受けられるが。

市長 突発的な補修および改修が生じた場合には早期に対応している。

質問 今年度から10年間の整備予定施設が55施設。バリアフリー化と予算・財源の確保をどうするか。

市長 大規模改修に合わせて実施。国庫や都補助、積立、将来負担を考慮した市債の活用を図っていく。

質問 「道路・橋梁維持保全計画」および「公園維持保全計画」の策定作業の進ちよく状況と公表時期を聞く。

市長 調査を行い劣化状況等を把握中。公表時期はそれぞれ平成24年度末、平成25年度末を予定。

質問 新たな被害想定の見直しに伴い、現在の「公共建築物維持保全計画」「水道ビジョン」「下水道総合計画」「耐震改修促進計画」をどのように見直していくか。

市長 必要な見直しを行い、その機能を果たせるよう対策を講じる。

はむら夏まつりについて

質問 出店、来場者の皆様から寄せられた意見・要望等の内容と対応は。

市長 「出店時間の延長」「抽選で出店できなかった場合の優先出店」「出店

エリアの拡大」「開催時間の延長」「サンバを続けてほしい」「西口会場に力を入れてほしい」などの意見がある。

質問 サンパパレードの行進ルートの見直し、延長を図る考えは。

市長 実行委員会に検討を依頼する。

質問 人の動線からも羽村駅舎の自由通路拡幅を急ぐ必要性が高いが。

市長 本年6月、道路施設としての拡幅にJRの内諾が得られ、具体的な整備方針を早期に取りまとめっていく。



▲今年の夏まつりでのサンパパレードの様子